

安心して選ぶための 最終チェックリスト

7つを確認してから、わが家に合うか考えてみる。

それだけでも、買ったあとに『思っていたのと違った』を減らしやすくなります



CHECK 1

気になる教材のサンプルを2つ以上、並べて比較した

知名度や体験したときの印象だけで決めず、いったん家で考える時間をつくる。「その場で決めない」を先に家族で決めておく。



CHECK 2

対象年齢・レベルが「今のわが子」に合っている

「早いほど良い・上のレベルほど良い」とは限りません。対象年齢やレベルも、選ぶときの大切な目安です。



CHECK 3

いま持っている教材を、まだ活用できそうか確認した

新しい教材を足す前に、今ある教材でまだできることがないか、いったん確認してみる



CHECK 4

毎日の取り組みを『誰が・いつ・どの場面で』するか決めた

教材は、毎日の生活に無理なく入れられる形がいちばん。生活の決まった場面に取り入れておくと、続けやすくなります。



CHECK 5

変化が見えるまでの時間について、家族でイメージを共有した

英語のインプットは年単位の貯金。数ヶ月で発話が見えなくても、それだけで失敗とは限りません。



CHECK 6

子どもが嫌がったときに、取り組みを軽くする方法を決めている

嫌がる様子が続くときは、いったん量を減らしたり、かけ流しだけに戻したりしても大丈夫。かけ流しだけに戻せるくらい、気楽なプランも用意しておく。



CHECK 7

やめどき・切り替えの基準を決めた

「〇ヶ月続けてみて、難しければ量を減らす」など、始める前に見直すタイミングも決めておく。

+ 高額教材(数十万円クラス)を検討中なら、さらに2つ

- ☐ 体験・営業を受ける前に「その場では契約しない」と家族で合意した
- ☐ 一緒に選ぶ家族が、それぞれこのリストを付けて、答え合わせをした